

南スーダンPKO 自衛隊「日報」存在していた

「戦闘」の実態を隠ぺい

共産党・笠井衆院議員が追及



日本共産党の笠井亮政策委員長（比例東京ブロック選出）は2月14日の衆院予算委員会で、政府が当初廃棄したとしていた南スーダンPKO（国連平和維持活動）の「日報」が存在していた問題で、安倍政権を厳しく追及しました。

政府はこれまで、昨年7月に南スーダン首都ジュバで発生した大規模な戦闘に関わる「日報」を破棄したと説明。ところが一転、7日に「日報」が存在するとして公表しました。

「日報」には「戦車や迫撃砲を使用した激しい戦闘」が起きていることが生々しく記され、「戦闘」という言葉が数多く出てきます。南スーダンの深刻な内戦について「衝突」だと詭弁（きべん）をろうしてきた安倍政権のウソとごまかしが明らかになりました。

それでも国会で「法的な意味での戦闘行為ではない」と強弁する稲田防衛大臣。「なぜ法的意味で戦闘行為があったかにこだわるか」と9条の問題になるから」（8日、衆院予算委員会）と本音を明かしました。

戦闘行為があることで自衛隊派兵の前提となる停戦合意など「PKO参加5原則」が崩壊していることは明瞭。そのようなところで自衛隊を派兵することは海外での武力行使を禁じた憲法9条に反します。「日報」を隠ぺいしたことは、憲法9条を踏みにじる派兵を隠ぺいすることです。

政権ぐるみで工作 国会には虚偽説明

笠井氏は、この「日報」問題について安倍政権が組織ぐるみで隠ぺい工作をしていた実態を告発しました。

防衛省はこの間、昨年12月26日に「日報」の電子データ

を「発見」したと説明しています。ところが1月24日の衆院本会議で日本共産党の志位委員長が「廃棄した自衛隊幹部の行為を是とするのか非とするのか」と質問したのに対し安部首相は、「日報」があるともないともいいませんでした。翌25日には共産党・山下副委員長（参院議員）に防衛省は「日報」は廃棄されていると説明していました。

笠井氏は「防衛省は国会議員にも虚偽説明を押し通そうとしていた。隠ぺいしようとしてきたことは明らかだ」と追及しました。さらに「発見」した「日報」のデータは自衛隊内部で容易に閲覧可能なデータベースに存在していた可能性を指摘しました。

公表された「日報」も黒塗りだらけ（右図）。「7月にジュバで何が起きたのか。国民に知らせない合理的理由は何一つない」と、すべて開示して委員会に提出することを求めました。

笠井氏は「戦争法による『新任務付与ありき』で、南スーダンの危険な現実を国会と国民に隠ぺいした稲田防衛大臣の責任は重大。直ちに辞任すべき」と迫りました。



動画でも見られます→



憲法こわす安倍政権の暴走ストップ!!



衆院15区予定候補

よしだとしお

吉田としお



都議会議員（江東区選出）

あぜがみ・みわこ

あぜ上三和子

日本共産党



ご意見・ご要望は 03-3370-0311、FAX 03-3370-0471

2017年2月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行/東京民報社（港区芝1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可